

図書館だより 10月号

北島中学校図書館

10月に入り、だんだんと秋が深くなってきましたね。

10月27日からは秋の読書週間が始まります。今年の標語は『**ラストページまで駆け抜けて**』です。物語のはじめは説明が多く、読む手が止まることもあるかもしれませんが、最後まで読んだからこそ味わえる感動があります。ラストページを目指して読んでみませんか？おすすめの本紹介の展示は、秋の読書週間中も続けるのでぜひ見に来てください！

秋は何かをはじめるにはぴったりの季節です。図書室には、料理やスポーツ、将棋、囲碁、手芸などの入門書もあるので、気になる方は見に来てください！



今回は、おすすめの本紹介で多く紹介された本を紹介していきたいと思います！

『本好きの下剋上 司書になるためには手段を選んでいられません』

本が大大好きな大学生が図書館で本を探していると、地震が発生し本に埋もれて死んでしまいます。目が覚めると、本がない異世界に転生していました！？そんな世界でマイン（大学生）は、司書になれるのでしょうか……。

『よるのばけもの』

夜になると化け物になってしまう僕は、宿題を忘れたことに気づき学校へ忍び込むことにしました。化け物の姿をした僕は警備員をすり抜け、教室へ目的を達成して帰ろうとすると……。

そこには1人の少女がいました。

『ハリー・ポッターシリーズ』

主人公ハリー・ポッターは1歳の誕生日に両親を亡くし、ダーズリー家に引き取られます。そこではひどい扱いを受けていましたが、ある日、ハリー宛に手紙が届きます。そこからハリーは魔法使いの道へと進んでいきます。

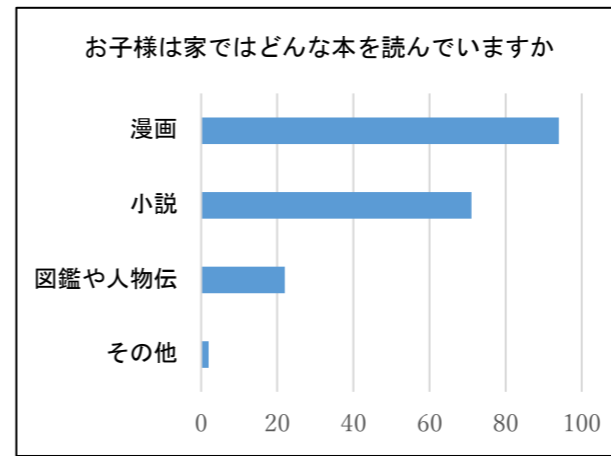
『また、同じ夢を見ていた』

学校に友達のいない“私”は4つの出会いを体験する。

キャッチコピーは『大切なことに気づけたら、世界はもう一度動き出す』。果たして“私”が体験したこの出会いが何をもたらすのか、読んでみませんか？



令和2年2月に実施した「図書室アンケート」から



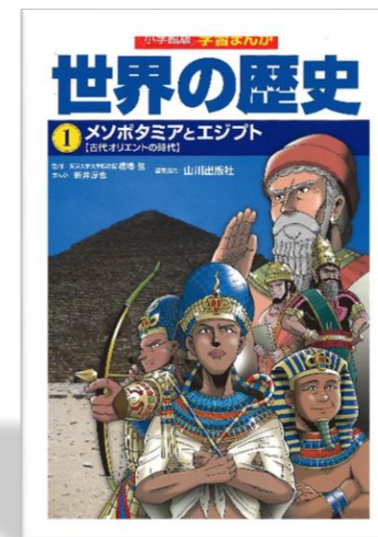
左のグラフは、保護者の方に家での読書の様子を聞いたものです。漫画と小説が多く、他は少なくなっていますが、実はこれはOECDが進めているPISA(Programme for International Student Assessment)と呼ばれる国際的な学習到達度に関する調査における日本全体のデータとも一致しています。PISAの調査結果からは、読む頻度が高く、小説や物語・新聞を読む生徒ほど読解力が高いことがわかっていますが、日本の特徴となるのは、漫画や小説・物語を読む割合が高いことです。家で漫画を読んでいると「漫画ばかり読んで」というようなイメージがあるかもしれませんが、実は漫画を読む人の読解力は、新聞や小説・物語を読む人ほどは高くないものの、何も読まない人に比べるとかなり高いのです。活字に親しむことが大切なのですね。

◇お気に入りの本で多かった本◇

- ・鬼滅の刃 ・約束のネバーランド
- ・僕のヒーローアカデミア ・Dr. STONE
- ・5分後に意外な結末

令和2年2月に1,2年生に聞いたアンケートでも漫画は人気がありました。なんと言っても漫画の良さは、絵と言葉で書かれている読みやすさではないでしょうか。出入口横に掲示している図書委員さん・先生からのおすすめ図書紹介のコーナーでも「カゲロウデイズで中学数学が面白いほどわかる本」が紹介されていて、漫画が取り入れられています。他にもいろいろな漫画がありますので、ぜひのぞいてみてください。

国語の先生から「図書室を利用して成績アップ！」



「××年〇〇〇(が起こる)」覚えることが歴史だと思いませんか？たくさんのお出来事をただ暗記しようとしても、面白くないし、全部覚えられないものではありません。歴史は『人間ドラマ』です。

その時代、その場所で生きてきた人が、何を考え、どう行動していったか。それがよくわかるのが「歴史まんが」です。登場人物たちの思いを感じ、なぜそうなったのかという歴史の流れを頭の中に入れることができます。高校での世界史学習にも役立つ「学習まんが 世界の歴史」は教科書を出版している会社が協力して作られています。

日本のことを知りたい人には「学習まんが 日本の歴史」もあります。映画「ビリギャル」でも使われていました。歴史上の人物のドラマを楽しみながら、勉強してみませんか。

* 図書室開館時間 放課後～

* 借りられる本の冊数 3冊

* 借りる期間 2週間

